

平成 26 年 2 月 19 日

公益社団法人日本 PTA 全国協議会 御中

内閣府・総務省・経済産業省
内閣官房 IT 総合戦略室・警察庁・消費者庁・法務省・文部科学省

「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について

平素から青少年の安心・安全なインターネット利用環境の整備に向け格別の御高配を賜り、誠にありがとうございます。

内閣府、総務省、経済産業省、内閣官房 IT 総合戦略室、警察庁、消費者庁、法務省及び文部科学省では、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（平成 20 年法律第 79 号。以下「青少年インターネット環境整備法」と記載します。）等に基づき、青少年が安心・安全にインターネット等を利用できるための様々な取組を関係府省や事業者・団体とともに進めています。

近年、スマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリや SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディア等を利用して利用者が高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、それらの不適正な利用により、青少年が犯罪被害に遭遇したり、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られます。このため、未来を担う青少年が、そのようなリスクとそれに対する対応を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっています。

このような認識の下、内閣府、総務省、経済産業省、内閣官房 IT 総合戦略室、警察庁、消費者庁、法務省及び文部科学省では、多くの青少年が初めてスマートフォン、タブレット等を手にする春の卒業・進学・新入学の時期に特に重点を置き、サービスを提供する関係事業者とこれを利用する青少年及び保護者、学校等の関係者が連携して、スマートフォンやソーシャルメディア等の安心・安全な利用のための啓発活動等の取組を「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として集中的に展開することが効果的であると考え、関係者に協力を求めることとしています。

つきましては、貴団体におかれましても、趣旨に御賛同いただき、各地域の関係団体に本取組について周知するとともに、下記の取組についてできる限り幅広い御協力をいただきますよう御理解のほどよろしく申し上げます。

記

下記の事項について、2 月～3 月の新学期準備期間には、中学校及び高等学校への新入学を控える小学 6 年生や中学 3 年生とその保護者、また、4 月以降の新学期には新中学 1 年生とその保護者への啓発に特に重点を置く観点から、入学前・入学後の各学校 P T A の会合における積極的周知をお願いします。

1 スマートフォン等の購入時における対応

保護者として、青少年が利用するスマートフォン等を購入・契約する際、青少年インターネット環境整備法^{*1}に基づき、法律上義務とされている利用者が青少年である旨の申し出を行うとともに、フィルタリング^{*2}について説明を受けていただくこと。

なお、フィルタリングの設定に際し、ID・パスワード等を使用する場合には、青少年ではなく保護者が設定・管理をしていただくこと。

※1 青少年インターネット環境整備法（抜粋）

(携帯電話インターネット接続役務提供事業者の青少年有害情報フィルタリングサービスの提供義務)
第十七条 携帯電話インターネット接続役務提供事業者は、携帯電話インターネット接続役務を提供する契約の相手方又は携帯電話端末若しくはPHS端末の利用者が青少年である場合には、青少年有害情報フィルタリングサービスの利用を条件として、携帯電話インターネット接続役務を提供しなければならない。ただし、その青少年の保護者が、青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しない旨の申出をした場合は、この限りでない。

2 携帯電話端末又はPHS端末をその保護する青少年に使用させるために携帯電話インターネット接続役務の提供を受ける契約を締結しようとする保護者は、当該契約の締結に当たり、携帯電話インターネット接続役務提供事業者に対しその旨を申し出なければならない。

※2 「フィルタリング」

インターネットのサイト等を一定の基準で評価判別し、違法・有害なサイト等の閲覧を制限することができる仕組み。スマートフォンでは、スマートフォン対応のフィルタリングの利用が必要です。

また、ゲーム機や音楽プレイヤー、タブレット端末等、インターネットに接続することが可能な端末でも、安心・安全に利用するために、フィルタリングを利用することが重要です。

2 家庭における利用のルール作り

添付資料等を参考に、スマートフォンやソーシャルメディア等のリスクについて親子で話し合った上で、正しく利用するための御家庭のルールを作り、守っていただくこと。

(家庭のルールに盛り込むべき事項の例)

- ・ 携帯電話を利用する場所や時間帯を決めましょう。
- ・ 書き込みや投稿をするときには、よく考えてから行いましょう。
- ・ 自分や友人の個人情報に関する書き込みや写真の投稿はやめましょう。
- ・ 他人を傷つけるような投稿や、公共ルールやマナーに反するような情報の投稿はしてはいけません。特に、写真を投稿するときは十分に注意しましょう。
- ・ トラブルに巻き込まれたときやその可能性があるときは、保護者や学校に相談しましょう。

3 学校や地域における取組

小・中学校、地域団体と連携し、卒業式・入学式や保護者会等の場を活用し、スマートフォン等の安心・安全な利用に関し、青少年や保護者、教職員の意識を高めるような取組について、できる限り行っていただくこと。

(取組の例)

- ・ 研修会やセミナー等の開催
- ・ 授業や総合学習等の時間における話し合い
- ・ 学校や地域で、正しく利用するための取組のアイデアやキャッチフレーズを募集

(担当課)

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青少年環境整備担当）付
総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課
経済産業省商務情報政策局情報経済課
内閣官房 IT 総合戦略室
警察庁生活安全局少年課、情報技術犯罪対策課
消費者庁消費者政策課
法務省大臣官房秘書課
文部科学省生涯学習政策局情報教育課、スポーツ・青少年局青少年課